【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公開番号】特開2003-113382(P2003-113382A)
【公開日】平成15年4月18日(2003.4.18)
【出願番号】特願2001-306369(P2001-306369)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ１０Ｊ　3/00
　Ｂ０１Ｊ　8/24
　Ｃ１０Ｊ　3/54
　Ｆ２３Ｃ　10/28
　Ｆ２３Ｇ　5/30
【ＦＩ】
　Ｃ１０Ｊ　3/00　K
　Ｂ０１Ｊ　8/24
　Ｃ１０Ｊ　3/54　E
　Ｃ１０Ｊ　3/54　F
　Ｃ１０Ｊ　3/54　H
　Ｃ１０Ｊ　3/54　L
　Ｆ２３Ｇ　5/30　ＺＡＢＰ
　Ｆ２３Ｃ　11/02　３０５

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月12日(2003.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原料を流動床において熱分解する流動床ガス化炉と、流動床ガス化炉から送出される熱分解ガスを高温でガス改質して製品ガスとする高温ガス化炉とを具備するガス化プラント用流動床ガス化炉の制御方法において、
本プロセスで合成される製品ガスの流量が予め設定した設定流量になるように、流動床ガス化炉に投入する原料の量を制御する原料供給量制御工程と、
原料が流動床においてガス化されるに必要な炉床温度を設定し、流動床ガス化炉に供給する炉床吹込み酸素流量を前記設定した炉床温度になるように制御する炉床温度制御工程と、
を具備することで前記プロセスで合成される製品ガスの流量を予め設定した設定流量にすることを特徴とするガス化プラント用流動床ガス化炉の制御方法。
【請求項２】
前記原料供給量制御工程では、本プロセスで合成される製品ガスの流量を測定してその測定値と前記設定流量の偏差から流動床ガス化炉に投入すべき原料の量の増減と、
流動床ガス化炉に供給される原料の供給量を測定してその測定値と前記算出した原料供給量の偏差から流動床ガス化炉に投入すべき原料の量の増減と、
を加えて全体として流動床ガス化炉に投入する原料の量の増減制御を行うことを特徴とする請求項１記載のガス化プラント用流動床ガス化炉の制御方法。
【請求項３】

前記炉床温度制御工程では、流動床ガス化炉内の炉床温度を測定してその測定値と前記設定した炉床温度の偏差から流動床ガス化炉に供給する炉床吹込み酸素流量の増減制御を行うことを特徴とする請求項１記載のガス化プラント用流動床ガス化炉の制御方法。
【請求項４】
原料を流動床において熱分解する流動床ガス化炉と、流動床ガス化炉から送出される熱分解ガスを高温でガス改質して製品ガスとする高温ガス化炉とを具備するガス化プラント用流動床ガス化炉の制御装置において、
本プロセスで合成される製品ガスの流量が予め設定した設定流量になるように流動床ガス化炉に投入する原料の量を制御する原料供給量制御手段と、
原料が流動床においてガス化されるに必要な炉床温度を設定し、流動床ガス化炉に供給する炉床吹込み酸素流量を前記設定した炉床温度になるように制御する炉床温度制御手段と、
を具備することで前記プロセスで合成される製品ガスの流量を予め設定した設定流量にすることを特徴とするガス化プラント用流動床ガス化炉の制御装置。
【請求項５】
請求項４に記載されたガス化プラント用流動床ガス化炉の制御装置を設置した流動床ガス化炉又は流動床ガス化炉を含むガス化プラント。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また本発明は、原料を流動床において熱分解する流動床ガス化炉と、流動床ガス化炉から送出される熱分解ガスを高温でガス改質して製品ガスとする高温ガス化炉とを具備するガス化プラント用流動床ガス化炉の制御装置において、本プロセスで合成される製品ガスの流量が予め設定した設定流量になるように流動床ガス化炉に投入する原料の量を制御する原料供給量制御手段と、原料が流動床においてガス化されるに必要な炉床温度を設定し流動床ガス化炉に供給する炉床吹込み酸素流量を前記設定した炉床温度になるように制御する炉床温度制御手段と、を具備することで前記本プロセスで合成される製品ガスの流量を予め設定した設定流量にすることを特徴とする。
また本発明は、前記ガス化プラント用流動床ガス化炉の制御装置を設置した流動床ガス化炉又は流動床ガス化炉を含むガス化プラントにある。